

国民生活産業・消費者団体連合会

生団連会報

2024年10月 VOL.61

活動報告

- ・埼玉生団連 物流共同宣言
- ・埼玉生団連 現地視察会
「認定NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン」
- ・埼玉生団連 第4回会合
- ・ジェンダー主流化 第2回企業分科会2日目・3日目 開催
- ・国家財政の見える化委員会開催
- ・世田谷区2R推進会議 農大・子どもエコゼミ参加
- ・北海道生団連 第2回分科会開催
- ・事務局員紹介
- ・課題別委員会 開催案内

会員紹介 We Are SEIDANREN!

- ・株式会社ミツハシ
- ・ジャパンプリント株式会社



生団連の使命

国民の生活・生命を守る

生団連の活動指針

- 一、国民生活の安全・安定の確保と質の向上、関連業界の健全な発展への貢献を通じて、「国民の生活・生命を守る」という使命を追求し続けます。
- 一、世界的な視点から日本の現状を顧みて、立ちはだかる諸課題に対し、御上頼りになることなく「自ら解決に取り組む先駆け」となることを目指します。
- 一、生産・製造・流通サービスの業界と消費者団体が一体となって大いに研究・議論を尽くし切磋琢磨して、政府・行政の政策運営に対する発言力、提案力、そして実現力の確保に努めます。

2024年8月～2024年9月の生団連の主な動き

8月	28日	埼玉生団連 第4回会合
9月	5日	国家財政の見える化委員会
	6日	ジェンダー主流化委員会 第2回企業分科会 3日目
	27日	北海道生団連 第4回会合

2024年10月以降の生団連の活動予定

10月	3日	大阪生団連 第5回会合
	7日	ジェンダー主流化委員会 第2回企業分科会 最終日
	8日	外国人の受入れに関する委員会
11月	5日	ジェンダー主流化委員会
	13日	新・災害対策委員会
	15日	エネルギー・原発問題委員会

埼玉生団連 物流共同宣言

「埼玉の持続可能な物流の確保に向けた共同宣言」を行いました

9月3日(火) 埼玉生団連は、埼玉県 大野知事をはじめとする「強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議」(※1)の構成団体や行政、物流事業者、消費者団体らと共に、「埼玉の持続可能な物流の確保に向けた共同宣言」(※2)を行いました。

持続可能な物流の確保に向けた機運醸成や消費者の行動変容を目指し、活動を前進させてまいります。



▲宣言式の様子 (会場:埼玉県知事公館)
前列中央 埼玉県 大野知事
後列右端 埼玉生団連より(株)ヤオコー室田経営企画室・会長秘書役



▲埼玉県 大野知事

※1 強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議

「強い埼玉県経済を構築するため2020年に設置された、ポストコロナ時代をオール埼玉で切り拓く戦略的取組を議論し、社会実装のできる施策・事業を打ち出すこと」(一部抜粋)を目的とした会議。

※2 埼玉の持続可能な物流の確保に向けた共同宣言

趣旨(一部抜粋):物流は県民生活を支える重要な社会インフラであるが、恒常的な人手不足が顕著であり、持続可能な物流体制を構築していくことが埼玉県にとっての喫緊の課題である。

物流は、物流事業者のみならずサプライチェーン全体の問題であることから、国、県、関係団体、荷主、物流事業者、消費者などを巻き込み、商慣行の見直しや物流業務の効率化、荷主と消費者の行動変容に向けて、社会全体で取り組んでいく必要がある。

このような共通認識の下、物流の問題を我が事としてとらえ、人手不足を克服し、持続可能な物流体制の構築に向けて関係者が連携して所要の取組を講じることにより、サプライチェーン全体の共存共栄と、消費者の利便性確保を図り、地域経済の発展と県民生活の向上に寄与するために役割を果たす。

埼玉生団連 現地視察会 「認定NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン」

7月29日(月)埼玉生団連 現地視察会を実施いたしました。

埼玉生団連では、埼玉生団連重点テーマである「食品ロス削減における事業系食品ロスの発生、各社での対応、未利用食品の活用」について知見を広める一環として、生団連会員である認定NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン様の埼玉倉庫の現地視察会を実施し、フードバンクの機能や実情、食品ロス削減に向けた課題について学びました。

【認定NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン】

日本初のフードバンクで、まだ充分食べられるにも関わらずさまざまな理由で活用されない食品を受け取り、それらを必要とする方々へ提供する活動を行っています。公共の資産としてフードバンクが活用され、十分な食べ物が必要な方へ行き渡るよう、フードライフラインを強化し、フードセーフティネットの構築を目指されています。

2023年度には、494企業・団体から食品寄付を受け、寄付された食品の総重量は1,300トン超、寄付された食品は、フードパントリーや児童養護施設等に供給されました。



▲柿沼トミ子 会長(埼玉県地域婦人会連合会 会長)



▲認定NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン 芝田 雄司 様



▲視察の様子

埼玉生団連 第4回会合

2024年8月28日(水) 13:00～15:00 会場:TKP大宮駅西口カンファレンスセンター6階 ホール6B



▲柿沼 トミ子 会長
(埼玉県地域婦人会連合会 会長)



▲川野 幸夫 副会長
((株)ヤオコー 代表取締役会長)



▲会場の様子

8月28日(水)埼玉生団連 第4回会合を開催いたしました。

認定NPO法人セカンドハーベスト・ジャパン芝田様より、『セカンドハーベスト・ジャパンと日本フードバンク連盟の活動』についてご講演をいただきました。また、埼玉県産業労働部産業労働政策課 渋谷様より、『埼玉の持続可能な物流の確保に向けた共同宣言』についてご説明いただき、埼玉生団連として共同宣言に参画することが決議されました。



◀認定NPO法人
セカンドハーベスト・ジャパン
芝田 雄司 様

『セカンドハーベスト・ジャパンと日本フードバンク連盟の活動』

フードセーフティネットが必要な理由やフードバンクの機能と現状、余剰食品のさらなる活用に向けたご提案についてお話いただきました。また日本フードバンク連盟としての知見も踏まえ、食品ロス削減推進会議の概要や食品寄付に関わる官民協議会の検討内容についてもご説明いただきました。



埼玉県 産業労働部▶
産業労働政策課
渋谷 陽太郎 様

『埼玉の持続可能な物流の確保に向けた共同宣言』

埼玉県として、持続可能な物流の確保に向けた共同宣言をするに至った背景と現状の取り組み、共同宣言案についてご説明いただきました。

ジェンダー主流化 第2回企業分科会2日目 開催

7月26日(金)ジェンダー主流化 第2回企業分科会2日目を開催しました。

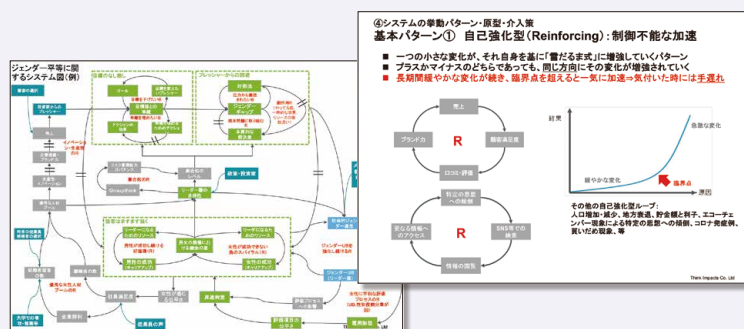
2日目を迎えた企業分科会は、19企業・21名(オンライン7企業・8名)の方にご参加いただきました。講師に、只松 観智子 様(株式会社 Think Impacts代表取締役)をお迎えし、システム思考に関するレクチャー(基礎・ジェンダー応用)の後、グループ討議を行いました。変化が大加速する時代、問題を生み出し続けるシステムを把握し、根本解決する方向性を見出すことの重要性を学びました。

講義パート



只松 観智子 様
(株式会社 Think Impacts
代表取締役)

講義パートはシステム思考の基本を知り、ジェンダー主流化への応用の考え方を学びました。

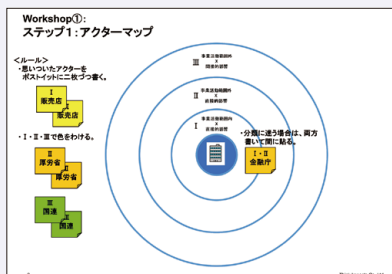


グループワーク

グループワーク①

業界毎に、アクター(関係先)を洗い出しました。

グループワーク①「アクターマップ」▶

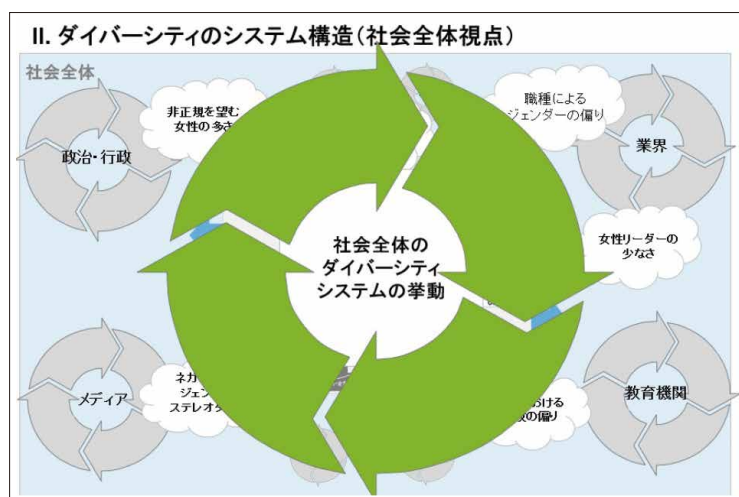


ジェンダー主流化 第2回企業分科会3日目 開催

9月6日(金)ジェンダー主流化 第2回企業分科会3日目を開催しました。

3日目を迎えた企業分科会は、21企業・22名(オンライン2企業・2名)の方にご参加いただきました。2日目に引き続き、講師に只松 観智子 様(株式会社 Think Impacts代表取締役)をお迎えし、施策の検討と分析の方法や各社で施策を実行していく上で、ベースとなるロードマップ作成へのプロセスを解説いただきました。

ワークショップでは、各社に事前に考えてきてもらった課題から洗い出された、各社内および、各社から社会全体にもつながるダイバーシティに関するシステム原型のループを例に、只松様に解説いただきました。その後、学びを踏まえて、あらためて各社で行うべき施策を再検討し、優先順位をつけてみる工程を行った上で、グループ内で意見交換を行いました。只松様からは、参加各社にとっても、多様性の問題は極めて難しい問題であり、覚悟を決めて挑むべき課題である、多様な視点を活用するアプローチがあってこそ機能すると、参加者へのエールを頂きました。



▲只松 観智子 様(株式会社 Think Impacts代表取締役)

大崎 麻子 様からは、前回(二日目)から当日迄でも、刻々と進捗する「政府PT」動向を中心にアップデートをいただきつつ、「社外のステークホルダーへの働きかけ・協働」と題して、4日目の最終日の内容である自社だけの施策では難しい・生団連を通して政府なども含めた社外への働きかけの必要性を解説いただきました。4日目の発表では、急速に進む法律や政策の整備など、目まぐるしく変わる日本社会において、生団連として今後働きかけるべき宿題をグループで検討し、発表して参ります。



▲大崎 麻子 様(ジェンダー・ダイバーシティスペシャリスト)



▲会場の様子

第12回 国家財政の見える化委員会の開催

2024年9月5日(木) 14:00～15:30 会場:キリンググループ中野本社 & オンライン開催

今年度の活動進捗状況と今後の活動の方向性について報告・議論を行いました。



▲江田 雄太 座長名代(キリンビール株式会社執行役員 広域販売推進統括本部長)



▲渡辺 裕子 共同座長(公益社団法人札幌消費者協会 会長)



◀会場の様子

江田座長名代、渡辺共同座長をお迎えして初めての委員会となりました。

また、初めてキリンググループ中野本社を会場としてお借りし、明るい雰囲気の中で議論の絶えない有意義な会となりました。

事務局より報告・提案

【24年度活動報告】

- 複数年度予算制度ほか提言実現に向けて
・林官房長官への提言、与野党へのアプローチほか
- 新たな見える化施策の調査
・デジタル化・財政教育

【24年度活動について提案】

- 新たな発想の意識喚起活動
・Z世代への取り組みなど
- 生活者アンケート
・長期的に定量データとして蓄積する初年度設計

出席者ご意見※抜粋

- ・情報の接点増加や情報を分かりやすく伝える、両方の観点で**メディアの活用**を検討すべき。
- ・財政再建派だけでなく積極財政派の意見も聞くことでより一層の理解に繋がるのではないかと。
- ・(事務局から提案のあった)**Z世代への取り組み**は、問題の先送り・政治無関心の観点からぜひ注力して欲しい。(意見多数)実績のあるシンポジウム等と組み合わせての検討を。

【事務局所感】

頂いたご意見を整理し、今後の活動に活かしてまいります。

より一層、**委員会自体の分かりやすさ向上**に向けて注力して参ります。

世田谷区2R推進会議 農大・子どもエコゼミ参加

2024年7月27日(土)10:00～16:30 会場:東京農業大学 世田谷キャンパス

東京農業大学と世田谷区2R推進会議の主催する「農大・子どもエコゼミ2024 in setagaya」に出展いたしました。

「農大・子どもエコゼミ2024 in setagaya」は、夏休みの自由研究でSDGsや環境について取り組みたい小学生を対象としたイベントです。

約100名の親子連れが参加し、食品ロスやごみを減らすために各参加団体のブースを回って体験、勉強していました。



東京農業大学 入江 満美 准教授による基調講演では「土からお箸まで 環境を学んで地球のお医者さんになろう!」と題し、土壌の成り立ちから地球の構造まで幅広くお話しいただきました。地球の中の限られた資源を活用していかに食料を生産するか、身近な食べ物の話に関連付けて資源の有効活用について子どもたちに考えるきっかけを与える内容でした。参加された子どもだけでなく、親御様も勉強になったと感想を述べられていました。

各参加団体のブースでは、食品トレーのリサイクルや、生ごみを自宅でたい肥化する方法、食品の持ち帰りの紹介を行っており、参加者の子どもたちは見て、聞いて、体験する内容になっていました。

生団連のブースではもったいないゼロプロジェクトの一環として「食品ロス削減」についての解説をしました。

食品ロスを身近に感じていただくため、食品の期限表示について、クイズを交えて講演しました。

『もったいない』という気持ちをどう日々の行動につなげていけるか、できることから始めていただくきっかけをつくることができました。



▲東京農業大学 入江 満美 准教授による基調講演



▲農大・子どもエコゼミの様子



▲生団連ブースの様子

北海道生団連 第2回分科会開催

2024年7月30日(火) 14:00～15:30 オンライン開催

北海道生団連 第2回分科会を、7月30日にオンラインにて開催いたしました。

北海道生団連のうち、10企業団体11人の方々にご出席いただきました。

冒頭、高田 安春 前会長から退任のご挨拶を頂戴し、渡辺 裕子 新会長より会長着任のご挨拶と北海道生団連への意気込みを頂戴しました。

昨今の食料安全保障に向けた国の動きと、生産拠点としての北海道の課題を鑑み、2024年の北海道生団連の活動を食料安全保障における生産人材について、議論してゆく方針を示しました。

基調講演として、北海道農政部生産振興局技術普及課、農業経営課のご担当者様による、担い手確保に向けた支援や取り組みをご講演いただきました。その後、参加者の皆様より、生産人材の確保への課題やご意見をいただき、議論いたしました。外国人労働者をはじめとした担い手の確保から、長期視点での生産量維持に向けた人材の確保の必要性まで幅広く意見をいただくことができました。



北海道生団連 新会長 渡辺 裕子 様▲
(公益社団法人札幌消費者協会 会長)

事務局員紹介



塚田 耕平 (株式会社明治)

9月3日付けで事務局に着任いたしました塚田耕平と申します。「災害対策」「人材・教育問題」を担当いたします。

活動の成果が見えるよう一生懸命取り組んで参ります。よろしくお願いいたします。



唐澤 聖 (株式会社ライフコーポレーション)

9月1日付けで事務局に着任いたしました唐澤聖と申します。「災害対策」「人材・教育問題」を担当いたします。課題解決に向けて、精一杯取り組んでまいります。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

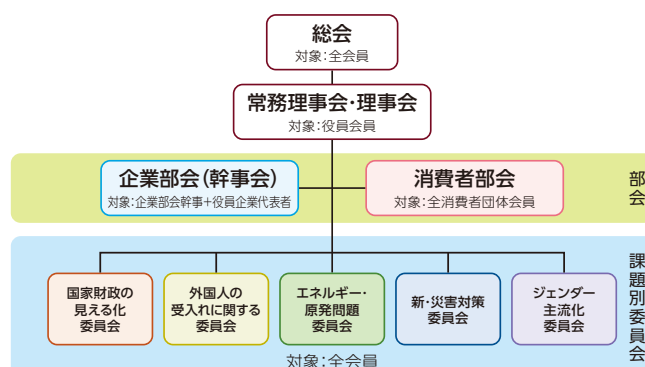
課題別委員会 開催案内

生団連では、「課題別委員会」を開催し、団体内での議論を深め、たうえて意思決定が行える会議体(理事会)を構成しております。

この度、各課題別委員会を開催し、取組課題に関する進捗報告や活動方針についての議論を深めてまいります。

委員会の拡充を図るため、いずれの「課題別委員会」につきましても、これまでのご参加の実績に関わらず、生団連の会員であればどなた様でもご参加いただけます。

ご多忙のことと存じますが、趣旨ご理解賜り、積極的なご出席のほどよろしくお願い申し上げます。



外国人の受入れに関する委員会とは	
目 的	委員会実施予定
生活者としての 外国人受入れ体制を構築し、 日本社会・経済を共に発展させる	日 時 10月8日(火) 10:00～12:00 (受付・接続開始9:45)
	会 場 ニッスイ本社 会議室10 (住所:東京都港区西新橋1-3-1 西新橋スクエア 6階)
	形 式 対面集合形式とWeb会議システム(Zoom)を活用した ハイブリット開催予定
ジェンダー主流化委員会とは	
目 的	委員会実施予定
みんなが平等に 自由な意思決定ができる、 豊かな日本を実現する	日 時 11月5日(火) 14:00～16:00 (受付・接続開始13:45)
	会 場 ミーティングスペースAP東京八重洲ROOM<W> (住所:東京都中央区京橋1-10-7 KPP八重洲ビル 10階)
	形 式 対面集合形式とWeb会議システム(Zoom)を活用した ハイブリット開催
新・災害対策委員会とは	
目 的	委員会実施予定
生団連会員リソースを活用した 「生団連災害支援スキーム」による 実効性の高い支援を実現する	日 時 11月13日(水) 15:00～16:30 (受付・接続開始14:45)
	会 場 ゼンショーホールディングス 大会議室 (住所:東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル 8階)
	形 式 対面集合形式とWeb会議システム(Zoom)を活用した ハイブリット開催
「エネルギー・原発問題」委員会とは	
目 的	委員会実施予定
国内外の変化によらず、 安定した電力供給を実現するため、 日本のあるべきエネルギー政策を示す	日 時 11月15日(金) 14:00～16:00 (受付・接続開始13:45)
	会 場 高島屋グループ本社ビル 101会議室 (住所:東京都中央区日本橋 2- 12-10)
	形 式 対面集合形式とWeb会議システム(Zoom)を活用した ハイブリット開催



◀ 二次元コードより「Googleフォーム」にて
開催日の2週間前までにお知らせください。



株式会社ミツハシ



株式会社ミツハシ

【会社概要】

- 代 表 者：代表取締役 三橋 美幸
- 設 立：1951年10月1日
- 主 な 事 業：米穀卸売、精米、炊飯、冷凍米飯、米関連の製造販売、その他
- 所 在 地：〒221-0052
神奈川県横浜市神奈川区栄町3 - 4
パシフィックマークス横浜イースト3階
- 電 話 番 号：045-285-3284
- U R L：https://www.3284rice.com/



株式会社ミツハシ(以下「ミツハシライス」)は、創業70年をこえる米のメーカーです。原料の仕入れから生産、品質管理、販売にいたるまでを自社で行い、精米品をはじめ、炊飯米、おにぎり、寿司飯、いなり、冷凍米飯など米に関わるあらゆる商品を製造・販売しています。

■企業理念

Slogan

わくわくを、コメで。

MISSION

ひとつぶから、数えきれない楽しさを。

VISION

お米ライフで、世界をわくわくさせる。

田んぼから食卓まで。

お米ライフのグローバルメーカーを目指しています。

VALUE

「安全・安心」×「創造」

きめ細やかなコミュニケーションと、お米の魅力をまるっと引き出すアイデアを私たちはお約束します。

■安全・安心のために

ミツハシライスが何よりも大切にしていることは「安全・安心な商品をスピーディーにお客様へお届けする」ことです。生産、物流から販売にいたるまで、細心の注意を持ってお客様に商品をお届けします。

また、ミツハシライス幸浦工場、行田工場および札幌工場(精米・無洗米の製造)、春日部工場および港北工場(炊飯加工品の製造)において、食品の「安全・安心」管理体制のもと、国際的な食品マネジメントシステムである「FSSC22000」の認証を取得しています。精米工場では「AIBフードセーフティープログラム」、炊飯加工工場では「炊飯HACCP」の認定、さらに冷凍米飯工場では「JmHACCP」の認定を取得し、製造工程での衛生管理や品質を損なうリスクを排除するための取り組みを行っています。

今後は「安全・安心」にさらに創造を掛け合わせることでさらなる成長をめざしていきます。

■持続可能な成長へ

2022年から2024年にかけての中期経営計画においては、新たな事業やイノベーションの芽を探索するとともに、未来に向けた重要な取り組みとして、低・脱炭素社会の実現に取り組んでいます。具体的数値目標を設定し、DXや省エネの取り組みを進めることで、社会的責任を果たしていきます。



【事業紹介】

■精米事業

玄米を精米し、白米や無洗米などを生産しています。最新設備を整えた工場で、日本トップクラスの安全・安心・おいしさを目指して稼働しています。ミツハシリスの精米事業は現在、グループ全体で年間15万トンの生産設備能力を持っています。近年では、水稻栽培における水田の中干しを延長することによりメタンガスの排出を削減し、生物多様性の保全を目的とした「環境にやさしい農法で育てたお米」を開発し農林水産省の「みえるらべる」の認定を受けました。

また、女性開発チームが中心となり、コラボ商品として開発した『ミツハシリス×シーサイドライン ボトル米』は神奈川県が女性活躍推進の一環として取り組む、「神奈川なでしこブランド」に認定されました。

さらに、健康維持に伝えるため、お米の可能性を広げる「KoMeTa」ブランドを立ち上げ、お肌の潤いを維持する「澄 (SUMU)」を機能性表示食品として発売しています。

■炊飯事業

厳選したお米を使用、徹底した衛生品質管理のもと製造、できた商品は鮮度を保ち迅速にお客様にお届けしています。近年では、和食文化の継承などを目的とした郷土料理の復活おにぎりなども開発しています(期間限定発売)。また、「岩下の新生姜」「地球の歩き方」など、様々な企業とのコラボおにぎりを開発することで、食の楽しさを提供しています。

■冷凍事業

冷凍食品事業では大型炊飯ラインを保有、白飯や酢飯だけでなく炊き込みご飯やせいろで蒸したおこわなど幅広く対応しております。また、急速冷凍設備を有しているため商品完成までの一連の作業を一つの工場だけで完結することができます。おにぎりやいなり、巻物、しゃり玉、ちまきといった冷凍米飯の製造が可能で、「米屋のおにぎり」シリーズは好評発売中となっています。

■米関連事業

お米の価値を多くの方に伝えるため、新たなお米を使った商品の開発に取り組んでいます。その一つとして地産地消を意識し、地産地消として地元のお米を使った「横濱お米かりん」と「横浜お米すなっく」を新しい横浜のお土産として展開しています。

■飲食事業

みなとみらいにて飲食店『GOHANYA 'GOHAN』を運営。ごはんの魅力を上げていきたいというコンセプトの下、五ツ星お米マイスターが、日本各地のお米からご提供をするお米を選定しています。ごはんのおいしさを最大限に引き出すため、土鍋で1釜ずつ丁寧に炊き上げています。

■DXの推進によるサステナブル経営の実現へ

ミツハシリスでは、未来に向けた重要な取り組みとして、稲作の課題解決、食のインフラを支える、省エネの取り組み、健康への取り組みを通じて、私たちの活動が社会につながっていることを認識し、DXの推進によるサステナブル経営を実現していきます。



ジャパンプリント株式会社



ジャパンプリント株式会社

【会社概要】

- 代 表 者：代表取締役 清水 俊彦
- 設 立：1976年4月
- 主 な 事 業：デザイン制作、商業印刷(チラシ・リーフレット・ポスター・POP等)、プランニング、セールスプロモーション、ツール制作、広告企画制作、催事企画&運営、包装紙印刷、Web制作&運用、データベース、システム構築
- 本社所在地：〒205-0023
東京都羽村市神明台4-9-12
- 電 話 番 号：042-506-3111 (代表)
- U R L：<https://www.japanprint.co.jp/>

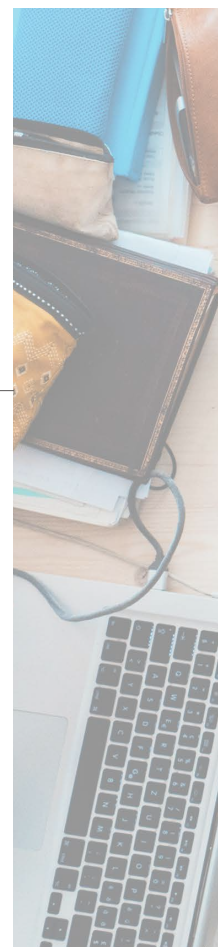
わたしたち

“ジャパンプリント株式会社”は、
スーパーマーケットと共に、48年。

小売・流通業界様の販促物をメインに、企画・プランニング・デザインから印刷までをトータルに手がける「総合印刷会社」です。

印刷をはじめ、問題点の分析と解決策のご提案、「伝える」を具体化するツールの数々を駆使し全国9拠点のネットワークで、100人を越える制作部門スタッフがお客様をバックアップさせていただきます。

企画・デザイン・印刷・お困りごと、気軽にご相談ください。



RETAIL SALES PROMOTION

小売業のプロモーションに特化した、経験と技術力

小売・流通業界様の販促物に携わり続けてきた経験を活かし、チラシやポスター、カタログなどの制作・印刷から、関連する資材・販促計画のご提案、撮影、WEBや動画制作まで、多岐に渡るお客様のご要望にお応えできる環境を整えています。

40年を越える小売・流通業界様との経験は、確かな技術と企画力となっています。

生団連会員として

当社は「伝えたいこと」を「分かりやすく」伝えるチカラで、多様な手段のソリューションをご提案しております。

このリソースを活かして会報誌をはじめ生団連の様々な活動をバックアップし、微力ではございますが委員会・部会を通じ広く国民に伝えていく活動に貢献して参ります。



小売・流通業界の販促で培った

経験と技術力で、お客様をサポート

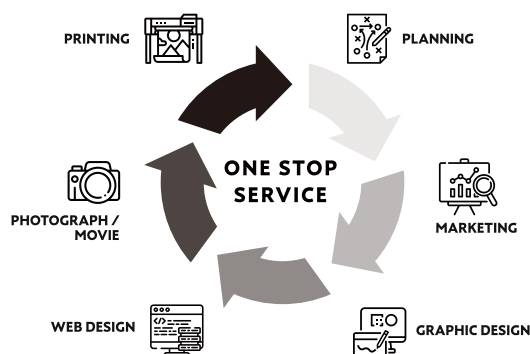
Our solution

伝えるチカラで、その先へ

ONE STOP SERVICE

企画から納品まで、ワンストップサービスをご提案

お客様のニーズを迅速に反映できるサービスの展開が要求される現代、的確な企業課題の分析による、効果的な販促物のご提案から印刷・納品まで、一貫したサポートをさせていただきます。



100 CREATIVE RESOURCE

100人を越える、制作部門スタッフ

グラフィックデザイナーをはじめ、ディレクター、プログラマー、カメラマンなど、クリエイティブに携わる100人を越えるスタッフが細部への繊細な配慮や、スピードが要求される仕事も即座に対応いたします。





発行:国民生活産業・消費者団体連合会
発行日:2024年10月1日

〒108-0075 東京都港区港南 2-18-1 JR 品川イーストビル18階
電話 (03)6833-0493 / FAX (03)6833-0494 / E-mail: jimu@seidanren.jp
ホームページ:<https://www.seidanren.jp>